

次期総合計画の策定に係る各種審議会や委員会で頂いた御意見の概要

1 会の名称

第21回岩手県東日本大震災津波復興委員会

2 県側出席者

復興局 他各部局

3 開催日時

平成29年11月20日（月）15:00～17:00

4 主な御意見の概要

○ 検討体制等について

- ・ こころのケアや子どもの問題など、暮らしの再建についてはまだ進んでいないため、生活者の視点を忘れないよう計画策定を進めてほしい。
- ・ （女性参画の観点から）女性を対象とした懇談会を開催する際、開催時間への配慮や託児スペースの設置など、県は意見を聞く姿勢や意識を持って取り組む必要があるのではないか。

○ 内容について

- ・ 総合計画（アクションプラン）の中に復興を入れていくことになると思うが、復興自体のウェイトが低くならないよう注意する必要がある。
- ・ 国の復興期間もあと2年で終わりとなるが、復興の主体が復興庁から各県や各市町村に移っていただけであり、県民に復興はこれで終わりと思われないようにする必要がある。

○ その他

- ・ こころのケアに関する対策は、地域圏の拡大に伴い、包括的に行っていく必要がある。日本は震災前から自殺率が高いことから、震災に直面した岩手県において、引き続き専門的人材の必要量を確保することが大切である。